



平成25年8月7日

各 位

会社名 中央化学株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 水野 和也  
 (コード番号・7895)  
 問合せ先 常務執行役員 経営企画担当 中野 保則  
 役職・氏名 経営企画本部長  
 電 話 048-540-2805

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年2月13日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 第2四半期累計期間業績の修正

(1) 平成26年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	27,000	0	0	0	0.00
今回修正 (B)	26,666	△ 1,649	△ 1,227	△ 1,214	△ 60.26
増減額 (B-A)	△ 334	△ 1,649	△ 1,227	△ 1,214	△ 60.26
増減率	△ 1.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成24年12月期第2四半期)	28,275	452	230	184	9.17

(2) 平成26年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	24,000	0	0	0	0.00
今回修正 (B)	23,891	△ 1,612	△ 1,496	△ 1,427	△ 70.83
増減額 (B-A)	△ 109	△ 1,612	△ 1,496	△ 1,427	△ 70.83
増減率	△ 0.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成24年12月期第2四半期)	25,976	333	104	73	3.66

## (3) 修正の理由

当第2四半期連結累計期間 (2013年1月1日～2013年6月30日) におけるわが国経済は、米国経済の回復基調や、新政権による金融政策・各種経済政策効果への期待感から一部個人消費等に回復

の兆しがみられるものの、円安による輸入品価格の上昇・欧州諸国における財政不安継続・新興国経済の成長鈍化・消費税増税への不安などから、景気の先行きへの不透明感が残っており、当食品包装容器業界に極めて関連性の深いスーパー・コンビニエンスストア・百貨店・その他食品加工業界においては、デフレ・低価格志向・節約志向が継続しております。

このような状況のなか、当社グループの国内では、2月13日から2月15日にかけて、当社・東京オフィスにおいて「Spring Fair 2013」を開催し、SD-Style（製品名）をはじめとした春夏の新製品紹介とそれらを活用した食品売場や食品盛付けの提案をおこない、多数のお客様の来場とともに好評を博しました。また、中国においては、昨年設立した統括会社「環菱中央化学管理有限公司」の統括機能範囲を順次拡大し中国事業の効率化と強化をすすめております。一方で、当社が使用するプラスチック原材料の価格は、高止まりする原油価格や円安などから、大幅に高騰し、他にも電気料金や運賃など各種料金の値上げが収益を著しく圧迫しております。これら原材料価格・各種料金の値上げを企業努力のみで吸収することは困難な事から、6月より、製品価格改定に向けた得意先様との交渉を順次実施しております。

以上のような状況から、当第2四半期累計期間の連結業績は、連結売上高がほぼ当初計画通りであるものの、原材料価格高騰や運賃値上がり、販売価格下落などから、連結営業利益は当初計画に対し約16億円下回る見込みです。

上記の営業利益減少約16億円に為替差益約4億円等の計上があり、連結経常利益・連結純利益は当初計画に対し約12億円下回る見込みです。

## 2. 通期業績予想等の修正

(1) 平成26年3月期第4四半期累計期間連結業績予想数値の修正（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	59,000	900	600	300	14.89
今回修正 (B)	—	—	—	—	—
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年12月期)	59,413	628	618	△ 741	△ 36.79

※「前回予想」は、平成25年1月～平成25年12月の12ヵ月間の数値であります。

(2) 平成26年3月期第4四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	53,000	600	600	300	14.89
今回修正 (B)	—	—	—	—	—
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年12月期)	54,140	478	491	△ 688	△ 34.16

※「前回予想」は、平成25年1月～平成25年12月の12ヵ月間の数値であります。

## (3)連結通期業績予想数値の修正（平成25年1月1日～平成26年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正 (B)	72,000	—	—	—	—
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年12月期)	59,413	628	618	△ 741	△ 36.79

※「今回予想」は、平成25年1月～平成26年3月の15ヵ月間の数値であります。

## (4)個別通期業績予想数値の修正（平成25年1月1日～平成26年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正 (B)	64,000	—	—	—	—
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年12月期)	54,140	478	491	△ 688	△ 34.16

※「今回予想」は、平成25年1月～平成26年3月の15ヵ月間の数値であります。

## (5)修正の理由

当社の第54期事業年度は、決算期の変更（12月31日を3月31日）により平成25年1月1日から平成26年3月31日までの15ヵ月間の変則事業年度となっております。

15ヵ月間の業績予想については、最近の原材料価格高騰を受け製商品販売価格改定を実施しておりますが、その効果を現時点で合理的に予想することは極めて困難な状況にあるため、通期業績については売上高を除き、未定（－）としております。15ヵ月間の業績予想については、詳細が判明次第、速やかにお知らせ致します。

以 上